

老人クラブ三大活動 健康 友愛 奉仕

ねんりんおうみ

— 第87号 —

米原市近江老人クラブ連合会発行 電話 0749 (52) 4393

祝 第42回 近江高齢者大会



受賞者を代表して谷村純一様から謝辞をいただきましたので紹介します。



谷村 純一

僭越でございますが、受賞者を代表いたしまして、感謝と御礼を申し上げます。

私達は、令和元年の記念すべき年に、各々長寿の節目と金婚を迎えるました。

第42回近江高齢者大会において、身に余る「お祝いのことば」を賜り、深く感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、なあ一層健康に留意しながら、それぞれの立場で、引き続き充実した日々の生活を送つて参りたいと存じます。

誠に有難うございました。



10月3日（木）近江公民館「ときめきホール」にて近江老人クラブ連合会主催の「第42回高齢者大会」が開催されました。

近江老人連北村会長の挨拶の後、米原市社会福祉協議会事務局長吉田様のご祝辞をいただき、白寿1名、米寿37名、喜寿49名、金婚12組の方々に北村会長よりお祝い状と記念品の贈呈がありました。

受賞者を代表して谷村純一様よりお礼の言葉をいただきました。

この間、長い年月で嬉しいこと、苦しかったことなど色々な人生経験を経て今日に至つてあられることと思ひます。今後とも健康に気を付けて、末永くお元気でお過ごしください。

また、アトラクションは長浜市演芸集団「うぐいす会」の皆さんによ



腹話術を熱演

るフラダンス、歌謡舞踏、漫談、腹話術、浪曲等で、楽しいひと時を過ごし、最後に「青い山脈」を合唱し閉会となりました。

全員で青い山脈を合唱





9月18日（水）長浜バイオ大学ドームで、第30回米原市老ク連の高齢者スポーツ大会が行なわれました。グラウンドゴルフ、ペタンク、公式ワナゲの3種目に対し山東老ク連76名、伊吹老ク連98名、近江老ク連104名、の計278名の選手や役員さんが一堂に集い競技が行われました。

近江老ク連チームの成績は下記の通りで2位3チーム、3位1チームと好成績を収めることができました。選手、役員のみなさんお疲れさまでした。

この大会に出場された方々は日頃の練習の成果をいかんなく発揮され、和やかにまたそれぞれの絆を深められた1日となりました。
(体育部)

順位	グラウンド ゴルフ	ペタンク		ワナゲ	
		男子	女子	男子	女子
1	村居田	村居田	村木	大久保A	伊吹
2	世継	高溝	伊吹	朝日	舟崎
3	上野A	村木	朝日	伊吹A	寺倉
4	寺倉	大鹿	長沢	母の郷	箕浦
5	上野B	能登瀬	日光寺	大久保B	高番



間伐を行なうためのモニタリング調査中



昨年の台風21号による倒木等後始末

昭和五十八年に地元住民の「健康と憩いの場」として造成されたのが『かぶと山遊歩道』です。以来、諸先輩の方々が地域住民の有志を募り「かぶと山を守る会」を結成され、今まで維持管理を行つてこられました。

現在では、三十歳代から七十歳

多和田 北川周策

いまでも
そしてこれからも

単老だより

代の会員にて、遊歩道整備のみならず、周辺の雑木の間伐も行つています。

私たちの子どものころは、家庭

(風呂) や地場産業の真綿の生産に欠かせないのが薪で、かぶと山は薪山として利用されていました。

しかし、時代とともに薪としての燃料も必要としなくなり、周りの里山には人の手が入らず荒れ放題になつてゐるのが現状です。

私達「かぶと山を守る会」は、もう一度日当たりや風通しを良くし、多くの植物や生きものを育む自然豊かな里山にと維持管理を

あこなうとともに、当初の目的で命、そして真剣そのものです。

ただ一生懸命の作業だけではなく、休憩時間には冗談交じりの会話や世間話でいつも盛り上がり、コミュニケーションの形成にもつながっていると感じます。

また、この活動を通じて得られた会員相互の強い団結力にて、少子高齢化の進む当地域の見守りや、活性化につながればという想いを絆にみんなで頑張つているところです。

もある『地域住民の健康と憩いの場』として、大切にこれからも守つていきたいと考えています。

また

当地区の老人会（箕和会）の会員数は平成21年度の101人をピークに自然減、退会等、毎年減り続けて現在は68人（内80才以上44人）で、地域活動の出来難い人員数と人員構成になりつつあります。



本年度も各町役員さんが未加入の70才前後の方々を中心に声をかけていただきましたが入会者はゼロでした。

全国的に老人会に対する無関心さの傾向が強くなつてきていることは言え空しさを感じざるを得ません。

昨年発行の機関紙「いきいきあうみ」は「高齢者が元気になつたり、活躍する場が増えるのは喜ばしい事ですが、反面老人会の立場からすればその事が若手高齢者を中心には老人会への関心度が遠退き、ひいては老人会の弱体化につながる一因になつてゐる。」と分析されていましたが当地区的現状もま

増えない老人会員数

箕浦 S.S. 生

むにその通りだと思います。

人生百年時代といわれる中で社会は多様化してあり入会してもメリットが無く、あえて時間的制約を受ける老人会に入会するより自由奔放に生きた方がベターだと考へている方が多いかと思います。

しかし入会してみると人とのつながりが出来て健康寿命を延ばす楽しく生きがいのあるサロンです。



当老人会の活動概要等をご紹介しますと会員の年間会費は壱千円で、他に主たる収入源は市及び自治会よりの助成金等で年間約20万円です。

活動内容は奉仕作業として輪番制による年一回程度のごみ集積場清掃とグラウンド周囲の植木剪定（男性）、会館周囲の清掃作業（女性）です。

又、親睦活動の一環として春の日帰りバス旅行、敬老会（自治会主催）、秋の日帰り懇親会食会、

正月のピンゴゲーム大会、総会時の昼食会等他地区と遜色のない内容だと思います。

当面は前記活動を維持しながら地域の実情に見合ったあり方を模索して少しでも魅力的な老人会にと思いますが、限られた資金の中でこれ以上何をどうしていいのか現状はなかなか難しく名案が浮かびません。

（追記）当地区の概要

10月1日現在
世帯数 86軒
区民数 292人
会員有資格者 109人
(65才以上)



「蕎麦打ち体験教室」を開催して! 近江母の郷ニュータウン

シニア会 箕浦吉弘

私達シニア会活動の料理教室は、料理の下拵えから調理全般を男性会員が担い、その後の会食は女性会員も参加されての楽しい食事会になりますが、今年度は趣向を見直して、5月期に開催しました「蕎麦打ち体験教室」をご紹介します。

この料理教室は、参加された男女会員が蕎麦打ち同好会メンバー

の調理指導により、蕎麦打ちを行い、打ち立てのお蕎麦を会食するものです。

当日は、割烹着・エプロン・バンダナを着用した参加会員は、先ずは蕎麦打ちの基本的なやり方を指導員によるデモ調理を見分した後、グループ分けした会員が、一人ひとり毎に3人前の二八蕎麦粉

をこね鉢に入れ、水加減しながら、鉢内で少しづつこねて行き、丸い団子状から薄く四角状になるよう丸棒で転がし伸ばしていきます。

その伸ばした蕎麦を折り重ね、専用包丁で細く切断し、打ち立て蕎麦に仕上げます。



そば打ち体験模様

実際にやって見ると、蕎麦粉にダマが生じてしまい、丸い団子状にならず、丸棒での転がし方があまり回せず、不均一な厚みの四角状になってしまったり、また、蕎麦切り包丁での切り方にムラが出て、太さにバラつきが生じたり等でしたが、見守っていただきいてる指導員による適宜に適切なアドバイスにより、それぞれが自己流のやり方も取り入れて、苦戦しながらも楽しく蕎麦打ちを行うことが出来ました。

参加した会員からは、デモ調理を見ていると簡単に出来そうだが、実際やってみるとこんなに難しいものだと思わなかつたとか様々な感想が述べられ、会食時には、誰からもこんなに腰があり、歯答えのある蕎麦を食べたことがなく、とても美味しいとの意見が多数ありました。

今回を通して、家庭で行う機会は殆どない蕎麦打ちを学んだことは、私達シニア会員にとって貴重な体験の場になつたと思つます。

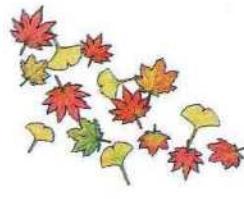
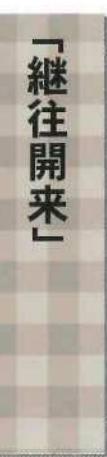
からもこんなに腰があり、歯答えのある蕎麦を食べたことがなく、とても美味しいとの意見が多数ありました。

西田寺 K
「継往開來」

マスク等では、国全体としての高齢化が悪いことかのように暗いイメージで扱つてあります。当事者である我々高齢者としては、高齢化も良いことであつて、むしろ明るいこととして前向きに受け入れて行くべきではないでしょうか。

西田寺 K
「継往開來」

老人クラブの高齢化はどの地域でも見られることですが、小規模地域では特に顕著に表れ、当自治区では、人口のほぼ三割の三十七名が会員ですが、その年齢は、六



マスク等では、国全体としての高齢化が悪いことかのように暗いイメージで扱つてあります。当事者である我々高齢者としては、

高齢化も良いことであつて、むしろ明るいこととして前向きに受け入れて行くべきではないでしょうか。

厚生友愛部

部長 喜田 晃

部会だより

厚生友愛部の担当理事として任期は残り数か月を残すのみとなりました。

担当事業の「親睦旅行」はお陰様で特にトラブル等もなく無事安全に実施する事が出来ました。昨年は山陰・三朝温泉、本年は信越国境の姫川温泉。和やかに楽しい懇親ツアーやを開催出来ました。

ただ、年々参加して頂ける人が少なくなっている状況で、旅行の一で、近江地区を中心として明るい未来への展望が描けるといろです。

十歳後半が一名、七十歳代が十三名で、二十三名が八十歳以上です。喜田副会長さん

が前号「ねんりん



老人クラブとしては、高齢者の豊富な経験や幅広い知識・知恵を生かして、子や孫のために残せる以前のように六十歳代が活動の中心となつた連合の行事への参加や、地域での奉仕活動等が十分に行なえないので当自治区の実情です。

國の方針としても年金問題や労働人口の確保のため、定年延長が叫ばれており、当地域でも今後の老人クラブのあり方を考えるべき時期を迎えているように思われます。

老人クラブとしては、高齢者の豊富な経験や幅広い知識・知恵を生かして、子や孫のために残せる以前のように六十歳代が活動の中

心となつた連合の行事への参加や、地域での奉仕活動等が十分に行なえないので当自治区の実情です。

國の方針としても年金問題や労働人口の確保のため、定年延長が叫ばれており、当地域でも今後の老人クラブのあり方を考えるべき時期を迎えているように思われます。

米原市は、靈峰伊吹や靈山、天の川や琵琶湖等豊富な自然環境に恵まれてあり、新幹線米原駅や名

少なくなっている状況で、旅行の日程、行先、内容等今後検討していく必要があるのでと痛感しています。

一人でも多くの方が参加して頂ける様なツアーハとして、日帰り旅行についても検討する必要があるのではないか。

西田寺 K



12月の期間に訪問実施して頂く予定ですが、宜しくご協力をお願い致します。

厚生友愛部事業に多大のご支援、ご協力を頂いた各単老役員様、会員の皆様に厚く御礼申し上げ、今後共、ご理解とご支援、宜しくお願い致します。

体育部

部長 藤田一雄

「光陰矢の如し」のことわざ通り昨年私ども理事をお受けして早くも1年半が過ぎ去ろうとしています。当初は不慣れな役職で事業ある毎に不安で一杯でした。

そんな中にも拘わらず今日を大過なく迎えさせて戴けたのも、これ偏に会員皆様方の温かいご支援とご協力のお陰と拝察いたしますとともに心から厚く御礼申し上げます。



さて老人クラブは高齢者の組織で有り会員の自然減が避けられないます。この中、新会員が入会してもらえない、また、入会しても名前だけで事業に参加して戴けないという共通の悩みがあります。現

時点では会員は減つても増えるという单老さんは現実の話として無い様に思います。

この様な事から今後は地域における老人クラブの役割、貢献度というものを区民の方に知つてもらひ、地域の関係者の協力を得ながら地道に繰返しあ誘いする実直な姿勢が求められます。

また今後クラブ活動する上であ互い健康には充分留意し人と人とのつながりが疎遠にならない様少しでも多くクラブ活動に参加し老化防止に務めて戴きたいと思います。

また「ユースポーツとして「ビンゴボーリ」が考案されました。フナゲと同様に誰でも簡単にできる競技です。興味のある方は老クラブへ連絡ください。

最後に私ども役員、残された任期皆様方のご期待に添える様職務に精励したいと思います。

今後とも今迄通りの暖かいご指導とご鞭撻を心からお願ひいたします。

ます。

教養部

部長 吉野和雄

平成30年度、令和元年度と二つの元号を渡つた私たち教養部は、これも何かのご縁だと想い三人（吉野、中川、木田）が力と知恵を出し合つて今日まで頑張つて来れたのも、单老の会長さん初め役員様方の一致協力があつてのことです。

今年も第42回高齢者大会を無事終了して余韻のある中で痛感しております。

特に広報誌「ねんりんおうみ」の発行にあたっては、会長、副会長、各理事



長浜バイオ大学ドームにおいて開かれた「第30回高齢者スポーツ大会」開会式の席上、米原市老クラブが育成功労者を表彰し、中村会長から賞状などが手渡された。

中川さんは長年にわたり長沢長生会の会長として、会の育成・発展に寄与し、昨年より近江老クラブに務め、活躍されています。



中川雅晴さん

数多くの方々を幸せな気持ちにさせることができるものである貴重な組織であり、高齢者の生きがい創りを担つてゐるとも思つています。

これからは年齢と共に健康に留め、意して皆が共に分かち合える中で自分のできる範囲で活動していくたいと思つています。

会員の皆様には、大変お世話になりましたがどうぞいました。

部員一同御礼申し上げます。